

猿ヶ石川の再生について



鈴木 民雄 議員

【質問】 市から提案された総合計画には、今後10年間の見通しとして人口減少や高齢化、財政事情の厳しさ等が示されているが、それを克服すべき方針が欠けている。これからの10年間は釜石道や横断道の延長開通により、交通事情や企業誘致の条件等が大幅に改善され

飛躍的10年となるが、それを先取りした開発構想により発展性を力強く現わすべきではないか。また、基本計画には各町から要望されている建設事業を始めとする課題の対応策がどれほど具体化されるか。

〔市長〕 この度の総合計画は、合併協議会で定められた新市建設計画により作成されたことからこのような形になった。提言いただいた内容及びこれまでに要望を受けている建設事業等については、9月までに作成される基本計画に示したい。

【質問】 猿ヶ石川の再生についての件が昨年度は国県に対する要望事項に入っていなかったが、その必要性をどのように捉えているか。

〔市長〕 猿ヶ石川の改修については今後も重要課題として取り上げていく。

【質問】 柏木平地区に整備されている施設は共に経営状況は良くない。その原因は要となるヤナが構造的欠陥によりアユが取れないことにある。原因さえ解消されれば、収穫があがり全体に効果が波及し再生は可能となるがその方針を示せ。

〔市長〕 柏木平地区の施設経営については運営組織の見直しを始め思い切った手段を講ずる必要がある。ヤナの改造に限らず、遠野郷の一大リゾート地として活用できるよう改善を図っていく。



いっそうの再生が望まれる猿ヶ石川

遠野の観光について



八重樫 正昇 議員

【質問】 遠野郷としての観光のあり方について、産業振興部の中にふるさと交流課を設置し発信しているようだが、今後どのように全国にアピールしていくのか。遠野郷の活性化は文化に触れる滞在体験型、体験を通しての魅力、良さを知ってもらうことが交流課の役割ではないのか。

〔市長〕 この4月に観光を基盤として、定住の促進を目的に「ふるさと交流課」を立ち上げた。豊かな観光資源を活かし、遠野ツーリズムなどの体験型観光を進め、2月に遠野民泊協会が、4月には宮守ツーリズム協会が立ち上がり、連携して取り組みたい。

【質問】 団塊の世代への呼びかけについては、観光を通して遠野の魅力为全国に発信し魅力をPRする事によって定住に結びつくのではないか。これを実現できるのは、永遠のふるさと遠野郷であり、そのためには受入条件を整備する必要があると思うが。

〔市長〕 環境、住居、医療の充実等受入態勢が必要である。合併を機に専従職員を置き、定住促進のあり方を検討し全庁を挙げて取り組みたい。

【質問】 宮沢賢治の銀河鉄道で一躍全国に知られるようになり、又貴重な土木遺産でもある通称めがね橋周辺について、観光客にロマンあふれる、憩いの場として自然を活かしながら景観を整備する必要があると思われるが。

〔市長〕 当地は「歴史的土木建造物の保存に資すること」を目的に創設された「土木学会推奨土木遺産」として平成14年に認定を受けた。周辺の自然環境も合わせながら整備に当たっては、景観はもとより総合的活用について、宮守地区まちづくり会議が中心となり検討している。



土木遺産でもある通称めがね橋